



令和4年度 苫小牧市立明野中学校 グランドデザイン

《学校教育目標》

- 【徳】豊かな感性を育む生徒
- 【知】学ぶ意欲を育む生徒
- 【体】逞しい心身を育む生徒

【明野中学校区が目指す15歳の姿】

- 「すべきこと・なすべきこと」から逃げずに、ひたむきに努力する生徒
- 思いやりの心をベースに「正しいこと・善いこと」を判断し行動する生徒

何ができるようになるか【育成を目指す資質・能力】 経営の重点

- 自らの人生を切り拓くための「**学びを活かす力**」の向上
- 自立と共生の基盤となる「**自主性・主体性**」の育成

どのように学ぶか【教育課程の実施】 指導の重点

【学習部所管】

- 学びの充実(授業改善)**
 - ・苫小牧市共通取組事項の徹底(焦点化・イメージ化・視覚化)
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現
 - ・指導と評価の一体化(評価の妥当性・信頼性向上)
 - ・教育課程の改善(道徳・特活・総合)
- 学びの保障(学びを止めない)**
 - ・ICT、タブレットPCの効果的な活用
 - ・デジタル資料の作成と蓄積(オンライン授業への転用)
 - ・補充的学習の推進(eライブラリの活用・家庭学習習慣の定着)

【生活部所管】

- 自己理解・自己管理能力の育成**
 - ・自律、自立を促す活動の推進(規律、モラル)
 - ・中1ギャップ、不登校、いじめの防止・解消
 - ・健康、安全指導の充実(事故防止、防災、生活習慣、疾病予防)
- 課題対応能力の育成**
 - ・より良い学校生活を探索する生徒主体の特別活動の推進
 - ・活動の目的、振り返りを重視し、自治能力を高める働きかけ
 - ・家庭、地域との連携・協働(地域活動局、地域貢献)

【各学年所管】

- 人間関係形成・社会形成能力の育成**
 - ・絆づくり(自己理解、相互理解、多様性や個性の尊重、自己肯定感)
 - ・居場所づくり(自己有用感の向上)
 - ・環境づくり(心理的安全性につながる学年風土)
- キャリアプランニング能力の育成**
 - ・協働、体験を通じた職業観、勤労観の育成(職業学習・SDGs学習)
 - ・キャリア形成に必要な将来設計、進路選択(意思決定能力の育成)

教科・領域・分掌の機能を活かしたキャリア教育の計画・推進

子供一人一人の発達をどのように支援するか【子供の発達を踏まえた指導】

- 特別支援教育の充実**(個別の支援計画・指導計画に基づく支援体制、通級指導)
- 生徒理解の促進**(教育相談体制、情報共有、生徒と向き合う時間の確保)
- 生徒指導の機能を踏まえた適切な指導・助言**(自己存在感・共感的人間関係・自己決定)

何を学ぶか【教育課程の編成】

- ・コミュニケーション能力(言語能力・非言語能力)
- ・情報活用能力
- ・問題発見・解決能力
- ・協働する力

何が身に付いたか【エビデンスに基づく評価・検証】

- 学校評価**(生徒・保護者アンケート、教職員自己評価)
- 学力・体力**(各種全国調査、チャレンジテスト、学力テスト)
- 生徒理解**(教育相談前アンケート、いじめに関する調査、ほっと等)
- 学校行事・特設授業**(事後アンケート)

【生徒の実態】○素直、生活習慣、規範意識、自治活動活発 ●論理的思考による表現力、自分らしさの発揮による人間関係構築、克己心

実施するために何が必要か【教育活動の推進に必要な方策】

- 校種間連携**(学校教育力向上マスタープランに基づくエリア会議(明野小・美園小))
- 地域連携**(中学校区生徒指導連絡協議会、地域活動局、学校運営協議会)
- 関係機関連携**(警察署、児童相談所、市役所、医療機関、適応指導教室、子ども支援室、その他)
- 働き方改革**(北海道アクション・プランの確実な推進、チェックリストの活用)
- 危機管理体制**(生徒の命を守る、学びを保障する、危機管理マニュアルの見直し、防災訓練)
- 校内研修体制**(ICT活用スキル、評価、生徒理解、服務規律)

《学校経営の基底》

- 生徒第一主義
- 組織力(学校力)の向上
- 安心・安全が担保された学校

《生徒・教師の行動指針》

向き合う
支え合う
認め合う

《重視するキーワード》

- 人・命・夢・本物・言語環境
- 危機意識・人権意識・衛生意識・プロ意識